



大樹

令和6年9月2日
流山市立八木南小学校



ほぼ毎日更新

声

今年も暑い夏でした。2日から、学校に子供たちの元気な声が聞こえてくることが待ちどおしいです。「おはようございます！」久しぶりの再会を心待ちにしています。

この夏は、パリオリンピックがありました。パリでは100年ぶりの開催とのこと。セーヌ川船上パレードからの開会式はこれまでにない方法で驚きましたが、何よりも、全ての競技で近くに選手たちを応援する観客の声援があることや支える家族や仲間があったことは、胸にグッとくるものがありました。皆さんは、何の競技が印象に残っていますか。数日前には毎夏恒例の高校野球も熱戦の中無事に終わり、パリでは今度はパラリンピックが始まっています。全ての選手たちの競技に駆ける熱い思いに、応援する熱い声が届くといいなと思います。

夏の間、本市と姉妹都市である能登町の小学生から、お礼の声が寄せ書きとして届きました。また、児童会役員の5年生が交流事業に参加しました。以下、始業式で全校に紹介したスピーチです。

わたしは7月23日に流山市の姉妹都市である石川県能登町の小学生との交流事業に参加してきました。能登の小学生の子たちとゲームをしたりお話をしたりして、仲良くなることができました。また、陶芸体験では、オブジェやお皿などを作って楽しみました。はじめは緊張していましたが、能登の子たちはとてもやさしく接してくれたので、早くなじむことができ、とても良い経験になりました。みなさんは、今年の1月1日にあった地震を覚えていますか。その地震で石川県能登町も大きな被害にあいました。能登町のために募金活動をしたことを覚えている人も多いと思います。実は、能登町にある小学校のみなさんが、私たちにお礼のメッセージを送ってくれました。これがそのメッセージです。(上記写真)私たちの募金や思いをととても喜んでくれ、元気をもらったとたくさんの言葉が寄せられています。能登町では、まだまだ水道が使えない地域があったり、避難生活をしなければならない人がたくさんいたりします。私はこのメッセージを読んで、このように学校に来ることができ、勉強したり友達と遊んだりすることができるのがあたりまえではないことがよくわかりました。では、私たちにできることはいったい何があるのでしょうか。私は、今幸せに暮らしているこの日々感謝して、一日一日を一生懸命に生きていくことが大切だと思います。みなさんもこのメッセージを読んで、同じような気持ちになってくれたらうれしいです。八木南小のみなさん、2学期も一緒に頑張りましょう。

今学期も、ご支援ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。流山市立八木南小学校 校長 山本亜由美
2, 3年生の教室の床が新しくなりツヤツヤ。オーソー先生は English corner を新しくしてくれました！

